

イネカメムシを防除しましょう！

令和6年度はイネカメムシが県東部の水田地帯を中心に大量発生

イネカメムシとは

- ・イネの実を加害する斑点米カメムシ類の一種
- ・体長13mm、黄褐色
- ・成長途上のイネの実を吸うので、実が膨らまなかったり、褐色の斑点が入ってしまう



イネカメムシ

被害軽減に向け、効果的な防除対策が必要

2回の薬剤散布が重要（7月中旬～9月上旬）

- ・1回目：実が出始めた頃
- ・2回目：実が膨らんできた頃



実を吸うイネカメムシ



実に褐色の斑点

イネカメムシの移動パターン

雑草地
など



田んぼ周辺のイネ科雑草



越冬場所

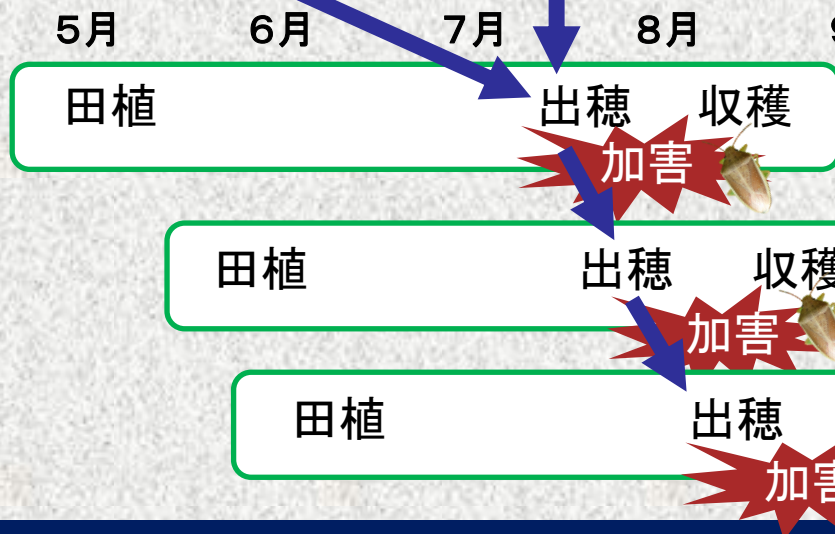


越冬

4月
わせ
コシヒカリ（早生）

なかて
彩のきずな（中生）

おくて
彩のかがやき（晩生）



埼玉県の取組

新規

イネカメムシ広域防除緊急対策事業



1 広域防除への支援

イネカメムシ対策として、無人ヘリやドローンで100ha以上の広域防除に取り組む団体等に対して薬剤散布費用として**上限50万円**を補助

受付期間: 令和7年5月12日(月)～6月30日(月)

2 防除体制充足の支援

広域防除に参加できない農家に対し、県農林公社がドローンでの薬剤散布を支援

その他取組

- ・ 市町村・関係団体向け対策会議の開催
- ・ 対策チラシ作成
- ・ ^{よさつ}予察情報の発信
- ・ 河川の草刈時期の調整

農家の皆さんへのお願い

イネカメムシの被害を拡大させないために

① 広域防除への参加

イネカメムシ広域防除緊急対策事業への参加

② 個人での適切な防除(①に参加できない場合)

適期防除の実施、県農林公社へ防除を依頼

③ 収穫後の速やかな耕うん、除草

耕うんにより稲株を埋没、田んぼ周辺の除草

④ 農薬の適正使用

農薬の使用基準の遵守、飛散の防止



埼玉県マスコット
「コバトン」
「さいたまっち」

